

NPO「教育支援協北海道」代表理事



本を手に「楽しく英語に親しんでほしい」と呼び掛ける安江さん

安江さん英語本執筆 小学生向けに2冊

放課後や土曜日に英語を学ぶ「放課後イングリッシュ」などを開設するNPO「教育支援協北海道」(本部事務局長氏)の代表理事安江こずえさん(札幌市在住)が、小学生向けに英語を使った活動や遊びを紹介した「楽しい！英語でアクティビティ」(wave出版)を執筆した。学校・公共図書館で、2020年度の小学校の英語教科化へ向けた活用も期待されている。

楽しめるアクティビティ紹介



安江さんが執筆した「楽しい！英語でアクティビティ」

同協会は全国組織の教育支援協会の北海道支部で幅広く本部を置く。北海道から生まれた、英語を楽しみながら学ぶ独自プログラム「放課後イングリッシュ」は、小学生を対象に十勝管内7市町15会場で行っている。安江さんは小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)の指導者育成トレーナーで、子どもの英語教育に長年携わってきた。執筆した本は低・中学年向けと中・高学年向けの2冊。

冊。英語で楽しくコミュニケーションを取ることを狙い、「体でじゃんけん」「色をさがそう」など少人数から楽しめる活動を紹介している。イラストはオーモリシンジさんが手掛けた。授業内で使うことも配慮し、用意する道具も最小限にとどめたほか、先生と一緒に活動した後は子ども自身で読めるようになっている。安江さんは「この本が指導の参考になれば。単語やフレーズ、絵自体を楽しめるので、本とアクティビティの両方で活用してもらいたい」と話している。大型本で63ページ。3780円。(松田亜弓)